

物の燃え方と空気

1

- (1) ㉞ (消える)、㉟ (燃え続ける)、㊱ (燃え続ける)
- (2) ③
- (3) 解答例：ろうそくの炎で熱せられ空気が集気瓶の口から出ていき、下から空気が吸い込まれるから。(41文字) ※文字数は40～50字で書くこと。

2

- (1) (二酸化炭素)
- (2) 何の(二酸化炭素)、どんな性質(石灰水を白くにごらせる性質)
※問題がわかりにくかったかもしれません。
- (3) 解答例：気体検知管を使うことで、それぞれの気体(酸素、二酸化炭素)の増減の割合がわかる。

3

- (1) 解答例：酸素はものを燃やす働きがあるため。
- (2) 最も多い気体(ちっ素)(78%)
2番目に多い気体(酸素)(21%)
3番目に多い気体(二酸化炭素)(0.04%)
- (3) ちっ素(変わらない)、酸素(減る)、二酸化炭素(増える)
- (4) 解答例：集気瓶のふたを閉めてろうそくを燃やしたため集気瓶の中の酸素が減り炎が消えそうになったが、ふたを開けたことにより外の空気より酸素が入ってきたことで炎が再び燃え始めたと考えられる。

動物のからだのはたらき

1

- (1) (でんぷんを青紫色に染める性質)
- (2) だ液を入れた (色が変わらなかった) ※色があまり変わらなかった でも可
だ液を入れない (青紫色に変わった)
- (3) 解答例: だ液はでんぷんを別のものに变化させるはたらきがあるといえる。
※消化という言葉を使ってもよい。

2

- (1) 上から順に (胃)、(小腸)、(大腸)
- (2) (消化液)
- (3) (消化管)
- (4) (小腸)

3

- (1) 取り入れているもの (酸素)
はい出しているもの (二酸化炭素)
- (2) (肺) ※肺の肺胞
- (3)

	吸う空気の割合	吐く空気の割合
ちっ素	(78%)	(78%)
酸素	(21%)	(18%)
二酸化炭素	(0.04%)	(3%)